

## 鶴ヶ島市(8校)

運営委員会名	鶴ヶ島市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	放課後子ども教室代表3名、放課後児童クラブ関係者1名、校長代表1名、PTA代表1名、子ども・地域に関する活動関係者4名		
検討内容	放課後子ども教室の実態把握について 新・放課後子ども総合プランについて 放課後子ども教室、放課後児童クラブの活動内容について		
放課後子供教室 実施教室数	17教室	放課後児童クラブ 箇所数	14箇所
対象学区	8校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 7教室 連携型 10教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	40日
登録児童数	879人	ボランティア数	85人
平均参加児童数	255人	平均スタッフ数	4人/教室
コーディネーター数	17人		

### 教室紹介

教室名	放課後のびのび算数教室	活動場所	市内各小学校
参加対象	2年生～6年生	参加者数	登録児童数 平均54人 1日平均参加者数 10人
活動内容	算数の基礎学習を通じて、「わかる」「できた」喜びを味わい、算数好きな児童を育てながら学習意欲の向上を図る。		
連携団体	算数学力向上支援員		
活動の成果	<p>年度当初に復習プリントを行い、個々のつまずきのポイントを確認してから学習を始めている。また、授業の進度に合わせたプリント学習をするために、担任と学力向上支援員との間で連絡ノートを活用している。参加した子供たちからは、「ゆっくり丁寧に教えてもらって、苦手だった算数が好きになった」「また、参加したい」などの感想があった。支援員からは、「子供たちの成長、喜ぶ姿を見ることが楽しみ」「生きがいを感じながら地域づくりに貢献できる」などの声が寄せられている。</p> <p>課題としては、低学年の参加希望は多いが、高学年では希望者が減少傾向にあり、子供たちが参加しやすい環境づくりを進めていくことが重要である。また、より効果的な指導を行えるよう、プリント作りを検討していきたいと考えている。</p>		



【プリント学習】  
指導員からの指導を受けて



【プリント学習】  
自主学習

## 日高市（6校）

運営委員会名	放課後子ども教室代表者会議		
構成役職 (合計15名)	地域コミュニティ、PTA、スポ少・学校応援団、公民館企画委員、保護者		
検討内容	放課後子ども教室の活動内容について		
放課後子供教室 実施教室数	6教室	放課後児童クラブ 箇所数	13箇所
対象学区	6校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 5教室 連携型 1教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	9日
登録児童数	447人	ボランティア数	97人
平均参加児童数	370人	平均スタッフ数	13人/教室
コーディネーター数	13人		

### 教室紹介

教室名	萩っ子すくすくすく～る	活動場所	体育館・校庭
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 90人 1日平均参加者数 83人
活動内容	スタンプラリー、大きなシャボン玉づくり、ペットボトル輪投げ、クリスマス会等		
連携団体	自治会、公民館		
活動の成果	地域で組織した実行員会が企画・運営しているため、多くの地域の協力を得ることができ、スタンプラリーやシャボン玉、クリスマス会でのウクレレミニコンサートを行うことができ、子供たちに多様な活動を提供できた。		



【シャボン玉づくり】  
シャボン玉で遊ぶ児童



【クリスマス会】  
ミニコンサートで「パプリカ」をおどる児童

## 毛呂山町（4校）

運営委員会名	毛呂山町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 10名)	社会教育関係者、学校関係者、PTA 関係者、学童保育関係者、青少年健全育成経験者、知識経験を有する者、コーディネーター2人、町職員、教育委員会職員		
検討内容	運営状況について、情報交換		
放課後子供教室 実施教室数	2教室	放課後児童クラブ 箇所数	2箇所
対象学区	4校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 1教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	30日
総登録児童数	52人	総ボランティア数	6人
平均参加児童数	43人	平均スタッフ数	6人/教室
コーディネーター数	2人		

### 教室紹介

教室名	木曜のあそびクラブ	活動場所	町立図書館、毛呂山小体育館
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 40人 1日平均参加者数 38人
活動内容	宿題、紙芝居、読み聞かせ、体育館での運動、工作、ゲーム遊び		
連携団体	図書館ボランティア、人材バンクボランティア		
活動の成果	<p>木曜のあそびクラブは、町立図書館の視聴覚室が主な活動場所になっており、学校が終わった学年から順次あそびクラブに参加し、全学年が揃うまでの時間を個人学習としている。その後全員が揃ったら全体学習を行っている。個人学習では、宿題をしたり、図書館で本を借り読んだりしながら、図書館の利用の仕方や一般の利用者に対する配慮などを学ぶことができる。個人学習と全体学習の時間をそれぞれ設けることで、自由と規律のメリハリを付けることを学ぶ。全体学習では町の人材バンクボランティアを活用したマジックショーや本の読み聞かせなどを行っている。また近接する小学校の協力により、体育館を利用した運動の時間があったりと、学校とは違った雰囲気の中で伸び伸びとあそぶことができる。ランドセルの置き方指導や道具の片付けなど基本的な生活指導も行っている。</p>		



【人材バンクボランティアとの連携】  
マジッククラブによるマジックショー



【ランドセル配列のようす】  
整理整頓など基本的な生活習慣も身に付きます

## 嵐山町（3校）

運営委員会名	嵐山町交流センター運営協議会		
構成役職 (合計10名)	地域団体の関係者、ボランティア団体の関係者、学校教育及び社会教育の関係者2名、センターの利用団体の関係者5名、町長が特に必要と認める者		
検討内容	放課後子供教室の実態把握について 放課後子供教室、放課後児童クラブの連携事業の活動内容について		
放課後子供教室 実施教室数	1教室	放課後児童クラブ 箇所数	4箇所
対象学区	3校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 0教室 連携型 1教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	31日
総登録児童数	65人	総ボランティア数	15人
平均参加児童数	19人	平均スタッフ数	2人/教室
コーディネーター数	1人		

### 教室紹介

教室名	嵐山町放課後子ども教室スイミー	活動場所	嵐山町ふれあい交流センター
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 65人 1日平均参加者数 19人
活動内容	宿題、しめ縄作り、餅つき、オカリナ教室、マジック教室、体操教室、バス研修等		
連携団体	鎌形地区老人会「友和会」、大妻嵐山中学・高等学校		
活動の成果	地元の老人会や、高い技能や知識を持った町民の方のバックアップで、日本文化の伝承の出来るプログラムが開催でき、延いては多様な体験活動を提供するに至った。		



【子供教室と児童クラブの連携】  
「しめ縄作り」の縄をなう



【地元老人会との連携】  
鎌形地区老人会「友和会」と餅つき



## 小川町（6校）

運営委員会名	小川町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	区長会長、老人会長、校長会代表、社会教育委員代表、PTA 会長3名、民生児童委員、放課後児童クラブ代表、公民館運営審議委員、学識経験者2名、学校教育課長等		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子供教室の実態把握</li> <li>・使用施設、設備等の利用実態と問題点について</li> <li>・「新・放課後子ども総合プラン」等の通知について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施教室数	3教室	放課後児童クラブ 箇所数	7箇所
対象学区	3校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 2教室 連携型 1教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	28日
総登録児童数	179人	総ボランティア数	37人
平均参加児童数	165人	平均スタッフ数	14人/教室
コーディネーター数	3人		

### 教室紹介

教室名	みどりっこ教室	活動場所	余裕教室、グラウンド、体育館
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 48人 1日平均参加者数 45人
活動内容	通常（宿題、外遊び）、特別の活動（英語活動、琴・尺八体験、手作りおもちゃ等）		
連携団体	琴・尺八サークル、英語教室、消防署 等		
活動の成果	<p>運営委員会に、オブザーバーとしてコーディネーターが参加したことで、運営の実態をよりよく伝えることができた。</p> <p>学童クラブとは、年度当初、児童の情報交換を行った。また、スタッフの駐車場使用等、施設の利用についての共通理解を図った。学童クラブ担当者に、放課後子供教室の視察をしていただいた。</p> <p>活動内容として、通常の活動である宿題・外遊びを、事故なく大きなけがもなく実施できた。</p> <p>特別の活動をして、琴・尺八の体験、ALT や長期アメリカ滞在者を招いての英語活動、スタッフの企画によるクリスマス会、彩の国21世紀郷土かるた会等を実施することができた。活動の様子を写真をプリントし、教室の廊下に掲示して保護者や学校の先生方に見てもらった。</p>		



[琴の体験教室]  
琴サークルの方々と



[彩の国21世紀郷土かるた会]  
スタッフの企画

## ときがわ町(3校)

運営委員会名	萩ヶ丘いきいき教室打ち合わせ会		
構成役職 (合計9名)	小学校長、小学校教頭、萩ヶ丘いきいき教室指導員(6名うち1名放課後児童クラブ指導員兼務)、生涯学習課担当者		
検討内容	萩ヶ丘いきいき教室の活動について		
放課後子供教室 実施教室数	2教室	放課後児童クラブ 箇所数	3箇所
対象学区	3校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 0教室 連携型 1教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	190日
総登録児童数	23人	総ボランティア数	6人
平均参加児童数	15人	平均スタッフ数	2人/教室
コーディネーター数	1人		

### 教室紹介

教室名	萩ヶ丘いきいき教室	活動場所	余裕教室、校庭
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 23人 1日平均参加者数 15人
活動内容	自由遊び、宿題、軟式野球		
連携団体	地域住民		
活動の成果	<p>「萩ヶ丘いきいき教室」は、放課後に児童が安心して安全に過ごせる場所と環境を提供することを目的に、主に児童の自由遊びを見守る活動を中心に運営している。隣接する放課後児童クラブ「学童保育所やまびこ」に入所している児童も遊びに加わり、学年・性別の区別なく和気あいあいと活動している。</p> <p>全校児童数50人以下という、小規模校の実情に合った活動を維持し、地域の方の協力を得て、放課後の安心・安全な居場所づくりができています。</p>		



【自由遊び】  
竹馬乗りにチャレンジ



【学習の時間】  
宿題に取り組んでいます！

## 川島町(4校)

運営委員会名	川島町地域子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計14名)	川島町教育委員会教育長、放課後子供教室コーディネーター6名、川島町公民館連絡協議会会長、副会長、社会教育指導員、生涯学習課長、生涯学習課職員		
検討内容	放課後子供教室の運営について 放課後子供教室、放課後児童クラブの連携について		
放課後子供教室 実施教室数	6教室	放課後児童クラブ 箇所数	4箇所
対象学区	4学区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 1教室 連携型 5教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	72日
総登録児童数	135人	総ボランティア数	123人
平均参加児童数	104人	平均スタッフ数	10人/教室
コーディネーター数	6人		

## 教室紹介

教室名	中山っ子くらぶ	活動場所	公民館、小学校校庭、体育館
参加対象	中山っ子くらぶに登録している全学年児童	参加者数	登録児童数 36人 1日平均参加者数 25人
活動内容	流しそうめん、餅つき、料理作り、工場見学、凧作り、花飾り作り、昔の遊びなど		
連携団体	各種公民館団体、JA、公民館、小学校、工場見学実施企業		
活動の成果	元公民館長や地域の顔役が、放課後子供教室のコーディネーターになることで、地域や公民館で活動する様々な団体との連携が可能となっている。小学校や放課後児童クラブとも連携を取りながら、毎年、子供たちにとって魅力的な事業を実施するように努めている。また、活動を実施する際は、子供たちが日常生活では経験することが難しい体験や、地域の人との交流が重視されている。その結果、放課後子供教室の活動外でも児童とスタッフが顔を合わせると挨拶をするなど、地域全体で地域の子供たちを育てていくという土壌が生まれている。		



【ライスバーガーを作ろう】

JAの方の協力のもと、美味しくできました。



【花飾りを作ろう】

紙コップ、ストローで、カラフルにできました。

## 吉見町(6校)

運営委員会名	吉見町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	教育委員1名、社会教育委員1名、放課後子ども教室実施校の校長2名、放課後子ども教室実施校のPTA会長2名、放課後児童クラブ関係者2名、社会教育指導員、子育て支援課長、教育総務課長、生涯学習課長		
検討内容	放課後子ども教室の実施状況について 児童、保護者、指導者アンケート結果について 成果と課題について		
放課後子供教室 実施教室数	2教室	放課後児童クラブ 箇所数	2箇所
対象学区	2校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 0教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	55日
総登録児童数	62人	総ボランティア数	15人
平均参加児童数	25人	平均スタッフ数	15人/教室
コーディネーター数	1人		

## 教室紹介

教室名	南小放課後子ども教室	活動場所	南公民館
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 26人 1日平均参加者数 19人
活動内容	自主学習、軽スポーツ、工作、室内ゲーム、外遊び、茶道体験、交流かるた大会		
連携団体	南公民館茶道クラブ		
活動の成果	<p>和やかな雰囲気の中で活動が行われ、その中で、共に「認め合い、語り合い、学び合う」姿が見られる。毎回の自主学習への積極的な取り組みは、家庭学習の習慣づくりを後押しする力になっている。</p> <p>南小と北小の子ども教室の児童が一緒になって活動する「交流かるた大会」や「交流ドッジボール大会」は、やがて一町一校の中学校に進学する児童たちにとって、新たな友達づくりのきっかけともなっている。(特に6年生は中1ギャップ対策の効果が期待できる。)</p> <p>外出しての遊びが減り、一人遊びが多い傾向にある子どもたちにとって、学年や通学班の異なる児童との交流、他校の児童との交流等、多様な体験ができる放課後子ども教室は、保護者からの評価も高い。</p>		



【茶道体験】

美味しい抹茶に舌鼓！礼儀作法も学びました。



【南小北小交流彩の国21世紀郷土かるた大会】

「ハイッ！」大きな掛け声が響き渡りました。